

乳腺標本撮影装置 AB-35

【警告】

- 1) 本体のカバーは、絶対に取り外さないこと。カバーの取り外しを伴う点検や修理は、トレーニングを受けた専門技術者が行います。指示に従わない場合、故障等の危険があります。
- 2) 本装置の近くで使用してはいけない機器、携帯電話、トランシーバー等の電波を発生する機器、これらの機器の電源スイッチは切ること。

【禁忌・禁止】

- 1) 本装置は、医師の読影を補助する装置であり、診断を行う装置ではない。診断は医師の責任において行うこと。
- 2) 防爆型ではありませんので、装置の近くで麻酔薬、酸素、水素等の可燃性及び爆発性の気体（液体）を絶対に使用しないこと。
- 3) 装置に異常を発見した場合は、装置を停止して適切な処置をとること。
- 4) 地震警報発令時には、本装置を使用しないこと。また地震発生後は、必ず本装置の安全点検を行い異常がないことを確認後、使用すること。
- 5) 本装置が故障した場合は、直ちに電源を切断し、「使用禁止」等の適切な表示を行い、修理を依頼すること。
- 6) 本装置を改造しないこと。
- 7) 本装置を使用する前には、次の事項に注意すること。
 - (1) 全てのコードの接続が正確かつ完全であることを確認すること。
 - (2) アースが完全に接続されていること。
 - (3) 使用前に本装置が正確に動作することを確認すること。
- 8) 機器の使用中は、次の事項に注意すること。
 - (1) 緊急時以外は、電源のオンオフは、連続して行わないこと。
 - (2) 本装置に異常が発見された場合は、作動を止める等の適切な措置を講ずること。
- 9) 本装置は、必ず定期点検を行うこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 構成

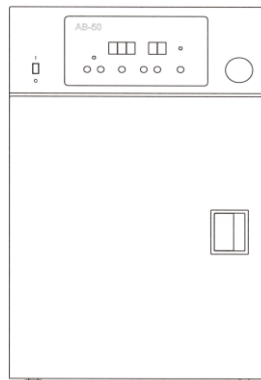
構成品

番号	各部の名称
①	X 線照射及び受像部
②	画像処理部(パソコン)
③	表示部(モニタ)

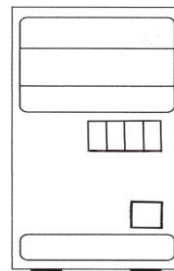
詳細は、装置付属の取扱説明書を参照してください。

2. 構成ユニット

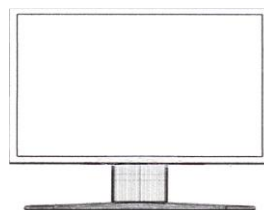
① X 線照射及び受像部(本体)



② 画像処理部(パソコン)



③ 表示部(モニタ)



3. 電気定格

定格電圧 : 100 V

周波数 : 50/60 Hz

取扱説明書を必ず確認してください。

電源入力 : 0.5kVA
保護の形式 : クラス I
保護の程度 : B 型

4. 寸法及び質量

各部の名称	寸法(mm)			質量 (kg)
	幅	高さ	奥行	
X 線乳腺標本撮影装置	380	600	4000	46
画像表示処理装置	180	370	400	9.3
表示部	405	406.5	205	6.2

5. 作動・動作原理

乳腺組織を検体としてシャーレに採取し、本体の検査台に設置する。内臓の X 線発生装置により、検体に X 線を照射し、透過した X 線の分布を平面検出器により検出する。検出された X 線信号は、デジタル化された画像信号として、画像処理された後に表示される。

【使用目的又は効果】

乳腺組織検体の組織細胞の内部に、石灰化した細胞が含まれているか視覚的に確認可能な画像を提供すること。

【使用方法等】

1. 使用環境条件

温度 : 10 ～30℃
湿度 : 20 ～75%RH(結露がないこと)
気圧 : 700～1060hPa

2. 操作方法

2.1 使用前の作業

- 1) 画像表示処理装置がある場合は X 線乳腺標本撮影装置と接続していることを確認してください。電源ケーブルをコンセントに接続していることを確認してください。
- 2) X 線乳腺標本撮影装置の電源スイッチを ON にしてください。X 線乳腺標本撮影装置が起動します。

2.2 使用中の作業

- 1) 撮影する試料を X 線乳腺標本撮影装置の中にセットしてください。
- 2) 管電圧とタイマを設定してください。
- 3) スタートボタンを押して、撮影を行って下さい。
- 4) 撮影した画像を保存します。

2.3 使用後の作業

- 1) X 線乳腺標本撮影装置の電源スイッチを OFF にしてください。
- 2) X 線乳腺標本撮影装置に接続している画像表示処理装置の電源を OFF にしてください。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- 1) 検査開始前に装置に異常がないことを確認すること。
- 2) 本装置の傍で可燃性及び爆発性気体を使用しないこと。

<相互作用>

装置に影響を及ぼす恐れがあるため、検査室内で携帯電話等の電磁波を発生する機器を使用しないこと。

<その他の注意>

- 1) 電圧変動の大きい電源コンセントの使用は避ける事。
- 2) 本装置を廃棄する場合は産業廃棄物となる。必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物業者に廃棄を依頼すること。
- 3) 詳細は装置付属の取扱説明書を参照すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

温度 : 10 ～40℃
湿度 : 20 ～75%RH(結露がないこと)
気圧 : 700～1060hPa

2. 耐用期間

10 年(指定された保守点検を実施した場合)

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項

装置を正しく使用するために下記項目について使用前点検を必ず行うこと。なお詳細については、取扱説明書を参照すること。

項目	点検頻度
空調	使用前
温度・湿度	使用前
動作チェック	使用前

2. 業者による保守点検事項

機器及び部品は必ず定期点検を行うこと。

項目	点検頻度
装置外観確認	1 回/年
配線接続確認	1 回/年
絶縁抵抗確認	1 回/年
動作確認	1 回/年
X 線の漏れ確認	1 回/年

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

アクロバイオ株式会社

製造業者

株式会社近畿レントゲン工業社

取扱説明書を必ず確認してください。